



海の京都

海の京都

天地山海にいきづく^{にほん}和の源流



海の京都観光圏



海の京都DMO

(一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社)

〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野 226
京丹後市役所大宮庁舎内
TEL: 0772-68-5055 E-mail: info@uminokyoto.jp

「海の京都観光圏」観光案内所

- ◎ [一社] 福知山観光協会 / TEL. 0773-22-2228
- ◎ 舞鶴観光協会 / TEL. 0773-75-8600
- ◎ 綾部市観光協会 / TEL. 0773-42-9550
- ◎ 天橋立観光協会 / TEL. 0772-22-8030
- ◎ 京丹後市観光協会 / TEL. 0772-62-6300
- ◎ 伊根町観光協会 / TEL. 0772-32-0277
- ◎ 与謝野町観光協会 / TEL. 0772-43-0155

「海の京都」の情報は、こちらから
www.uminokyoto.jp



日本を感じるため 海の京都へ行く

「和の国」はここから
始まりました

京都府の日本海側に面する海の京都。
古来より自然の神を奉る「和の心」を持つ独自の文化に
海から伝わった先進文化が融合し、
強大な古代文明を築きました。

この地は、数々の神話や国生み伝説の舞台
「和の源流」そのものです。

平安京では貴族の憧れの地として歌に詠まれ、
江戸時代には北前船の寄港地として、
以降も貿易の拠点として、

大陸を結ぶ重要拠点として時を歩んできました。
海の京都には、天地山海の景観や人々の暮らしの中に、
「和の源流」が今もなお脈々といきづいています。

海の京都観光圏



18
伊根町
伊根浦舟屋群
エリア



家か、漁場か、
窓の下には
旬の魚たち

16
与謝野町
ちりめん街道
エリア



うらにしと
機神さまに
育まれる
縮緬の郷

14
綾部市
綾部まちなか
エリア



和でつむぐ
綾のまち

12
福知山市
福知山城エリア



「ドッコイセ」が
智慧をうみだす
福のまち

10
舞鶴市
舞鶴赤れんが
パークエリア



静なる海が紡ぎ出す
時空を超える宝箱

08
京丹後市
久美浜・夕日ヶ浦
エリア



悠久の時間が
奏でる神の箱庭

06
宮津市
天橋立エリア



天につながる
太古の聖地

脈々といきづく
和の源流をめぐる旅

こんどうそうりゅうかんどうたら
金銅装双龍環頭大刀
大小2対の龍が向かい合って玉をくわえる意匠を環頭にあらわした金銅装の大刀。古墳時代後期の横穴式石室墳から出土しました。



ガラス釧
舟形木棺に埋葬された人物の胸部付近に置かれていたと考えられる腕輪。風化せず、完全な形を保ち、透明感のある青色が残っています。



先進文化の中心、**田庭国**
青き煌めきに
強大な古代文明の息吹を感じる
「海の京都」を象徴する青色。これは天橋立を見下ろす丘陵地にある与謝野町大風呂南一号墓から出土したガラス釧の色です。断面が五角形をしており、大陸文化の技術力の高さがうかがい知れます。また、京丹後市久美浜町湯舟坂二号墳から出土した日本最大級の飾り大刀。優れた彫金の技術により二対の龍が表現されています。神聖な埋蔵品の煌めきの先に、古代文明のロマン溢れる「海の京都」が見えてきます。

あまてらすおみかみ
**天照大神が
伊勢神宮に呼び寄せた女神
豊受大神とは？**

食をつかさどる女神豊受大神は現在、天照大神とともに伊勢神宮に祀られています。もともとは「海の京都」で祀られていた神です。天照大神が伊勢神宮に遷られた後に、米や酒造りの技術を持った豊受大神を自分の元へ呼び寄せたと伝えられています。豊受大神のふるさと「海の京都」は、日本の稲作発祥の地「月の輪田」の神話や、天女が造った酒が日本酒のはじまりとされる羽衣伝説の舞台です。「ニッポンの食」の源流でもある「海の京都」。古代から肥沃な大地とおいしい水、そして海の幸に恵まれた地域だからこそ、このような神話や伝説が生まれ、それらは現代にも受け継がれ、豊かな食文化を育み、こだわりのある特産品を生むなど「食の王国」であり続けています。



月の輪田（京丹後市）
日本の稲作発祥の地。豊受大神がここで育てた米を天照大神に奉ったとされます。



富士酢（宮津市）
無農薬の米を使って自家蔵で杜氏によって本格的に造られた酒を一年がかりで静置発酵、熟成させて造った酢です。

ちりめん街道（与謝野町）
江戸から明治・大正・昭和初期にかけて、高級織物「丹後ちりめん」が隆盛を極めた場所です。



丹後ちりめん（京丹後市・与謝野町）
生地表面が細かい凸凹状になっており「シボ」と呼ばれています。このシボにより独特な風合いが醸し出されます。



黒谷和紙（綾部市）
平家の落武者が始め、今なお伝統的な古法の手すき技術を守り続けている黒谷和紙。800年もの歴史があり、和紙の中でも屈指の美しさを誇っています。



オイルサーディン（宮津市）
鮮度と品質の良いイワシを手作業で丁寧にさばって詰めた人気のお漬物。薄味で、魚本来の風味が閉じ込められています。

福知山城の石垣（福知山市）
天守閣の石垣には、隣社寺の石塔類を利用し、城のお守りとしてと伝えられています。

**新旧の文化が寄り添った地
人の営みとともに
受け継がれる和の源流を
めぐるロマンの拠点へ**

古代から製鉄やガラス・水晶の加工を行うなど、この地域は優れたものづくりの場所でした。その技術とこだわりの遺伝子は、やがて丹後ちりめんを生み出し日本最大の絹織物の産地として我が国の繊維産業を支えてきました。また、明治以降の日本の近代化に大きく貢献したのが舞鶴市の赤れんが建築でした。福知山城の石垣にはたくさんの五輪塔や宝篋印塔が使われていますが、このような転用石の利用は石材の不足、短期の築城のためという理由の他に、お城を守護するという領民の強い意識の表れであったと考えられています。伊根の舟屋では、豊かな自然の中に合理的に溶け込んだ独自性のある人々の生活を感じることもできます。このように「海の京都」には、人の営みとともに伝承されてきた「和の源流」を感じる場所が数多くあり、ロマンに溢れた旅を楽しむことができます。

舞鶴赤れんがパーク（舞鶴市）
明治33年から大正10年頃までに建てられた旧海軍の兵器庫。現在は展示スペースや喫茶コーナーとなっています。





神仏の源流に触れる幸福感 天につながる 太古の聖地

神が天地を往来し仏が人を導く聖地、天橋立。日本創世の神イザナギノミコトが天界から梯子を降ろしたとされる元伊勢籠神社の奥宮・眞名井神社の古代祭祀場、天地に暴れる龍を文殊の智慧をもって善龍に改心させたとされる文殊菩薩を祀る智恩寺など、ここには天地和合の物語の舞台が数多くあります。



〈磯清水〉
周囲を海に囲まれていながら真水が湧き出る不思議な井戸。「日本の名水百選」に認定されています。



〈天橋立神社〉
さまざまな龍伝説が残る天橋立の中にある神社で、豊受大神、八大龍王などをお祀りしています。

文珠

まちなか散策



●文殊堂

② 〈智恩寺〉

智慧を授かる文殊さん
日本三文珠のひとつで通称切戸（又は九世戸）の文殊として知られています。通りに面した山門は、市の指定文化財で丹後地方最大級の山門です。
◎境内自由 ☎0772-22-2553



●山門



① 〈天橋立公園・廻旋橋〉

船が通るたびに90度旋回する珍しい橋
天橋立と文殊堂のある陸地をつなぐ橋。橋の下を通る大型船舶が増え、昭和35年に手動式から電動式へ変わりました。
◎見学自由



●雪舟筆「国宝・天橋立図」(京都国立博物館蔵)

〈海渡る参道・天橋立〉

天橋立を鳥瞰的に描いた水墨画として知られる雪舟最晩年の代表作。実際の風景を描いた水墨画としては最古の作品であると同時に日本絵画史上最も謎が多いと評されています。智恩寺、籠神社、成相寺の三所には朱が施されているほか、数多くの寺社や籠神社ゆかりの冠島・杵島、土地に伝わる物語の舞台などを巧みに描き入れているところから、天橋立を海を渡る参道と捉え、絵図全域を神と仏が交わる聖地として表現したのではないかと考えられています。

府中



③ 〈元伊勢籠神社〉

お伊勢さまのふるさと丹後一宮
2,500年におよぶ古代祭祀を継承し、主神は彦火明命。御本殿は伊勢神宮と同様の神明造りで、高欄上の五色の座玉は伊勢神宮御正殿と籠神社以外には拝せられないものです。
◎境内自由 ☎0772-27-0006



④ 〈眞名井神社〉

拝殿の後ろには天橋立の根本地といわれる磐座があります。右は丹後の守護神「豊受大神」、左は「天照大神」が祀られています。古名を吉佐宮といい籠神社の元宮であったと伝えられています。
◎境内自由



⑤ 〈傘松公園〉

「股のぞき」発祥の地
ここからの眺めは天橋立が昇り龍のように見えることから「昇龍観」と呼ばれています。少し高台にある展望所には名前の由来となった「傘松」という松があり、股のぞき発祥の地として知られています。
◎無休 ☎0772-27-0032 (丹後海陸交通(株)成相営業所)

⑥ 〈成相寺〉
西国28番札所
本尊は「身代わり観音」や美人観音として評判の聖観世音菩薩。本堂・鎮守堂・鐘楼は京都府指定文化財となっています。その他にも悲話を伝える「撞かずの鐘」や左甚五郎作の「眞向の龍」があります。
◎境内自由 ☎0772-27-0018

飛龍観
ビューポイント

360度の大パノラマ
日本三景天橋立を眺める展望所のある遊園地。ここから見える風景は「飛龍観」と呼ばれ、天に舞う龍の姿にたとえられています。パノラマが体感できる飛龍観回廊やイタリヤからやってきたメリーゴーランドなどたくさん遊具があります。

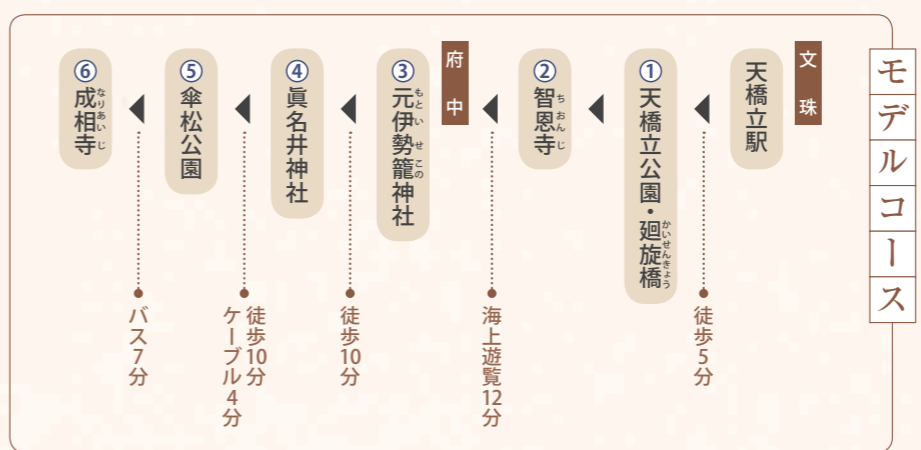
天橋立ビューランド

◎毎年2月中旬の土日 ☎0772-22-5304 (天橋立総合事業株式会社)

グルメ

〈智恵の餅〉
小さな餅に船をたっぶりのせたもので、食べると智慧を授かるといわれています。

〈丹後とり貝〉
通常のとり貝の2〜3倍の大きさで、京のブランド産品に認定されています。5月下旬〜6月下旬。
☎0772-22-8030 (天橋立観光協会)



神の箱庭

悠久の時間が奏でる

神呼吸・凜とした美しき

この地域で見られる原風景は、大自然が放つ宇宙の息吹と鼓動に満ちており、自分の心が開放されていくのがわかります。また縄文時代から現代まで時代の移ろいの中でも変わらぬ、日本人の原点とは何かを語りかけてくる凜とした美しさがあります。



〈海に浮かぶ日間の架け橋湊宮〉

まちなか散策

久美浜



① 〈神谷太刀宮〉
崇神天皇の十年、丹後平定を命じられた四道將軍・丹波道主命が出雲の大国主命をお招きして祀ったのが神谷神社で、丹波道主命の神魂として「国見剣」を祀ったのが太刀宮です。この二つが合祀されて現在の神谷太刀宮となりました。
⑩境内自由



② 〈磐座〉
古代の人々は、自然を神として祀り、星や太陽による祭祀を行ってきました。ここはその痕跡を残す場所です。



③ 〈東稲葉邸〉
二百年前の酒蔵倉庫
稲葉本家八代市郎右衛門英邦の時、本家は代官所の公務で「靴屋」の商売のやりくりが難しくなったので、兄弟で分家を四軒作り酒造業を行いました。
⑩外観自由



④ 〈豪商稲葉本家〉
千石船の交易により財を築いた商家
稲葉本家初代の喜兵衛は織田信長の家臣、美濃三人衆の一人稲葉一鉄の末裔と言われています。家業は「靴屋」を生業とし、千石船を活用した日本海沿岸の交易業や掛け屋（金銭貸出）も営み資産を増やしました。稲葉家の豪商になっても支えてくれた人々への感謝を忘れず、困った時には助け合う和の心は、現在の「和心のまち」につながっています。
⑩水曜 ☎0772-82-2356

湊宮



⑤ 〈蛭見神社〉
神の箱庭の二つの象徴
古来、日留居大明神と称されていますが、蛭見神社と表記するようになりました。元称は日間の宮といわれています。通称は四神ヶ嶽に奉斎されていますが今からおよそ800年前に現在地に遷座されました。四神ヶ嶽に神とともに玄武、朱雀、青竜、白虎が降りてきたことから、四神ヶ嶽と表記したとことです。
⑩境内自由

④ 〈綿徳商店〉
久美浜名産「鯛せんべい」と「このしろ寿司」を製造販売しています。このしろ寿司は冬季限定商品です。
⑩不定休 ☎0772-82-0216



〈ばらぐし〉

ハレの日を祝う丹後の郷土料理。鯛のおぼろが特徴で、まつたと呼ばれる浅い木箱にすし飯を敷き切り分けて食べるのが丹後独特のスタイルです。



⑥ 〈久美浜湾遊覧船〉
勾玉の形をした波穏やかな湾
船上からは、神の宿る神体山かぶと山や、まるで海に家が浮かんでいるかのような美しい湊宮の風景が望めます。
要予約 ☎0772-82-0045

⑥ 〈旧湊小学校 日時計〉

日時計はこの地に住む人々が太陽の動きを日々の、また、四季折々の行動基準としてきたことを象徴的に表しています。
⑩見学自由



鳴砂で知られる全長1・8kmの砂浜。歩くとき「キョッキョ」と音がする「キョッキョ」と音する琴引浜は、鳴砂の浜として全国で初めて国の天然記念物及び名勝に指定された浜です。古くから多くの文人や学者が訪れ、和歌や記録に残っています。

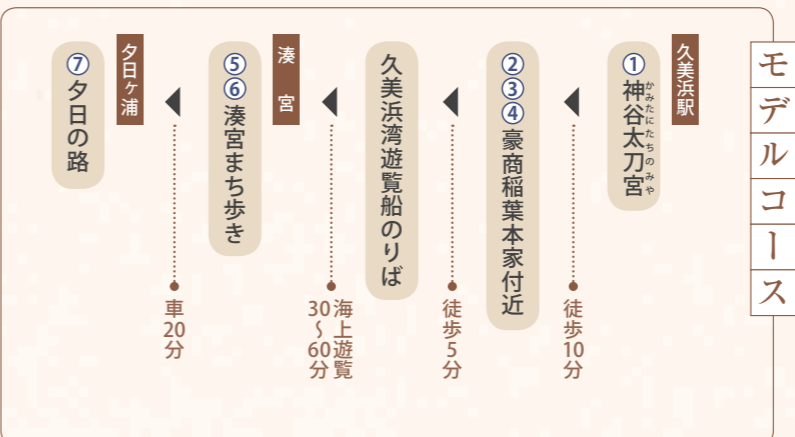


⑦ 〈琴引浜鳴き砂文化館〉
鳴砂のすべてがわかる体験型の施設です。
⑩火曜(祝日の場合は翌日) ☎0772-72-5511



⑦ 〈夕日の路〉
神が海に用意してくれた日鏡
湊宮から続く全長8kmの白砂の浜の東端で、別名「常世の浜」ともいいます。太陽が夕日に変わる少し前、海面に映る黄金色の照り返しはまるで美しい鏡のようです。浜辺に沿ってのびる散策路「夕日の路」にはベンチが並び、ゆっくりと夕日を楽しむことができます。

夕日ヶ浦



静なる海が紡ぎ出す
時空を超える宝箱

「あふれだす好奇心」

舞鶴の海は、四季を彩る山々に抱かれて、波静かで母なる海を舞台に満ちています。静なる海を舞台に、はるか古より先人たちが歩んだ道程は、縄文丸木舟に始まり、田辺城 北前船、軍港、戦後の引揚港、海上自衛隊基地など物語性に富むものばかり。明治・大正期の熱き鼓動を今に伝えてここにしかないタカラモノにあふれる舞鶴は、まさに歴史文化の煌めく宝箱のようです。

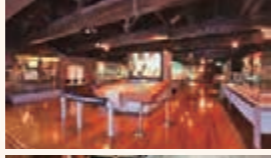


まちなか散策

① 〈舞鶴赤れんがパーク〉(日本遺産)
レトロな雰囲気たよ赤れんが造りの憩いの場

国の重要文化財に指定されている倉庫群のひとつ。明治35年の建設当時は旧海軍兵器廠倉庫でしたが、今は展示スペースやホール、喫茶コーナーを備え、交流の場となっています。また不定期でライブイベントやアートフェスタなども開催されています。

⑧年末年始 ☎0773-66-1096



●舞鶴市政記念館 (赤れんが2号棟)
激動の明治・大正・昭和時代から現代に至るまでの舞鶴市のあゆみや、浦入遺跡から出土した世界最古級とされる5,300年前の縄文丸木舟(市指定文化財)を展示しています。(2階)



●まいづる智恵蔵 (赤れんが3号棟)
DB10型ディーゼル機関車・レール展示・当時の中舞鶴を再現した鉄道模型などを展示しています。2階では、舞鶴鎮守府開庁に伴う新しいまちづくりや旧軍港四市に残る近代化遺産と日本遺産、旧海軍ゆかりの人物などについて貴重な資料を展示しています。

② 〈赤れんが博物館〉(日本遺産)

世界初! れんがをテーマにした博物館

赤れんが博物館は、明治36年に建設された魚形水雷庫を利用。現存する鉄骨れんが造りの建物としてたいへん貴重なもので、国の重要文化財の一棟。館内ではれんがの歴史、世界各国のれんがなどを展示しています。

⑧年末年始 ☎0773-66-1095



〈Cafe jazz〉

市政記念館1階のCafe jazzでは、海軍の調理隊員のための教科書「厨業管理教科書」と「割烹術参考書」に記されている「海軍カレー」「海軍ロール」「肉じゃが井」など海軍ゆかりのメニューが味わえます。

☎0773-63-7177



ひとあし
のばして!

舞鶴引揚記念館

引き揚げの歴史を世界へ伝える

終戦後、旧満州や旧ソ連領からの引揚者を温かく迎えた舞鶴港。引き揚げやシベリア抑留の歴史を伝える舞鶴引揚記念館では、シベリアから日本の家族に送った手紙や抑留中に記した日記などの記録を展示。平成27年10月10日に収蔵資料のうち570点がユネスコ世界記憶遺産に登録されました。



2015 ユネスコ世界記憶遺産に登録
☎0773-68-0836 ⑧毎月第3木曜日(8月と祝日除く)、年末年始

③ 〈自衛隊棧橋〉

迫力満点の護衛艦が停泊する舞鶴の必見スポット

海上自衛隊護衛艦などが停泊する自衛隊棧橋では、迫力あふれる護衛艦を目の当たりにすることができます。

☎0773-62-2250 (海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報係)

見学は
土・日・祝
限定!!



乗船は
3月下旬~11月の
土・日・祝
限定!!



〈海軍&引揚ゆかりの港めぐり遊覧船〉
海から眺める絶景
赤れんが博物館海側の北吸赤れんが棧橋から、3月下旬~11月末までの土日祝日のみ一日4便の遊覧船が航路します。自衛隊棧橋に停泊する護衛艦を間近に見る人気のコース(11時、12時、13時発)と、復元された引揚棧橋を海から臨むコースをお楽しみください。(14時発)
☎0773-758600 まいづる観光ステーション

見学は
毎月第1日曜
限定!!



⑤ 〈東郷邸〉(日本遺産)

終戦時まで使用された歴代長官の官邸
舞鶴鎮守府初代司令長官であった東郷平八郎海軍中将が、明治34年開庁以来2年間を過ごした官邸です。木造平家建で一部洋館となっており、裏庭には、長官が「一心池」と命名した心の形の池があります。

⑧毎月第1日曜のみ見学可
☎0773-62-2250 (海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報係)

見学は
土・日・祝
限定!!



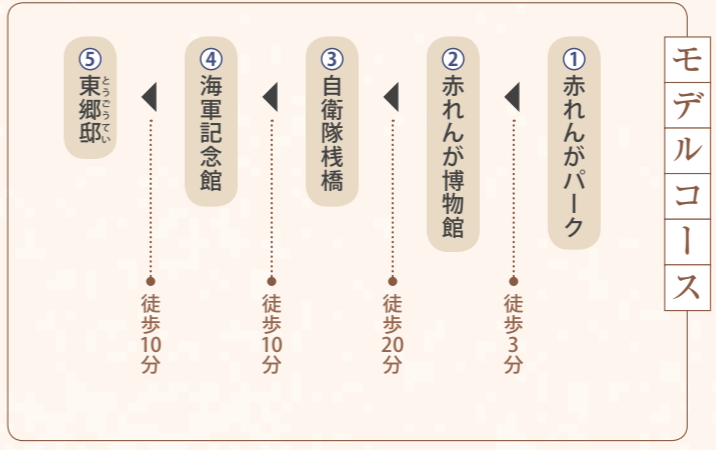
④ 〈海軍記念館〉(日本遺産)

旧海軍の歴史を伝える館
明治34年東郷平八郎中将を初代司令長官として鎮守府が設置され、軍港の街として発展してきた舞鶴。旧海軍機関学校大講堂の一部を利用して設置された資料館で旧海軍に関する資料が200点余り展示されています。

☎0773-62-2250 (海上自衛隊舞鶴地方総監部 広報係)



平成28年4月25日、文化庁の日本遺産に「鎮守府横須賀・呉・佐世保・舞鶴」日本近代化の躍動を体感できるまち」が認定されました。



五老ヶ岳公園

五老ヶ岳公園は、眺望の美しい「近畿百景」の第一位に選ばれています。展望広場には大空に向かっ「五老スライタワ」があり、風景を楽しみながらゆったりできるカフェテラスもあります。



⑧見学自由 ☎0773-66-2582

田辺城跡

細川氏ゆかりの城跡

石田三成方が大軍で攻め込み、「関が原の戦」の前哨戦になった舞台として有名な田辺城。現在は公園になっていますが、平成4年には城門内に資料館を復興、展示室では、細川幽斎を中心とした歴史、代城主や、城下町・田辺の歴史を紹介しています。また、彰古館では、「糸井文庫」の錦絵資料を展示しています。



⑧月曜(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始 ☎0773-76-7211 (田辺城資料館)



「ドッコイセ」が
智慧をうみだす
福のまち

「ドッコイセ」とは、福知山の無形民俗文化財である郷土芸能「福知山音頭と踊り」の囃子の一節です。1579年ごろ、明智光秀公が福知山城を築く際に、領民が石材や木材を運ぶときの「ドッコイセ」というかけ声にあわせ、身振り足振り面白く唄い、踊りだしたのが「福知山音頭と踊り」のはじまりといわれています。時にこのまちを築いた明智光秀公を偲び、時に水害や大火などの災害が多かったこのまちを励ましながらかつたこのまちを守り親しまれてきた「ドッコイセ」。どこか懐かしい音色が、今も福知山に響いています。



〈福知山音頭と踊り〉

まちなか散策

① 福知山城（郷土資料館）
明智光秀公が築いた丹波の拠点

福知山城は、1579年ごろ、明智光秀が織田信長の命により丹波を平定した際、西国への拠点として築城されました。3層4階建ての天守閣は初期望楼型と呼ばれる比較的古い形式で、小振りながらも実用的で美しく、風格のある佇まいを見せています。明治時代のはじめに、廃城令により石垣の一部の遺構を除いた大部分が取り壊されましたが、市民の「瓦一枚運動」などの熱意により、昭和61年（1986）、往年の絵図を元に天守閣が復元されました。以来、まちのシンボルとしてまちを見守っています。内部は郷土資料館となっており、福知山の歴史や明智光秀公に関する資料を展示しています。
⑧火曜 祝日の場合は翌日の平日 ☎0773-2339564

自然石を積み上げた荒々しい石垣の中にハート型の石が？！



⑤ 治水記念館
城下町に伝わる治水の智慧

そばを流れる暴れ川・由良川の水害に福知山の城下町はたびたび苦しめられました。治水記念館では福知山市の洪水の歴史や治水の歩み、洪水に備えた先人たちの知恵を紹介しています。建物は明治13年築の町家を改修したもので、洪水の際、家族が避難できる屋根裏や生活用品を水害から守るための荷揚げ用滑車など水害に対する工夫が見られます。⑧火曜 祝日の場合は翌日の平日 ☎0773-22-4200



④ 福知山鉄道館ポッポランド
鉄道のまち福知山の歴史を学ぶ

古くから交通の要衝であり、「鉄道のまち」として栄えた福知山の歴史を伝える施設です。1923年から約50年間、福知山～大江間を運行していた北丹鉄道に関する貴重な資料や、旧福知山駅舎を模したNゲージ模型、実物の蒸気機関車などを展示しています。鉄道ファンは必見！ ⑧木曜 ☎0773-23-5430



② ゆらのガーデン
ゆったりと心豊かな時間を過ごす

季節の移ろいを感じられる芝生広場。自然とふれあうことで心が癒されます。ひと休みにお茶・スイーツ、ランチ、ディナータイムが楽しめます。⑧店舗により異なる ☎0773-23-0266 (福知山まちづくり株式会社)



③ 足立音衛門（旧松村家住宅）
甘さ控えめの栗のテリーヌ

インターネットや百貨店でも人気のスイーツ店の本店。大正元年に建てられた京都府指定文化財となっている旧松村家住宅を店舗として活用しています。⑧元日 ☎0120-535-400



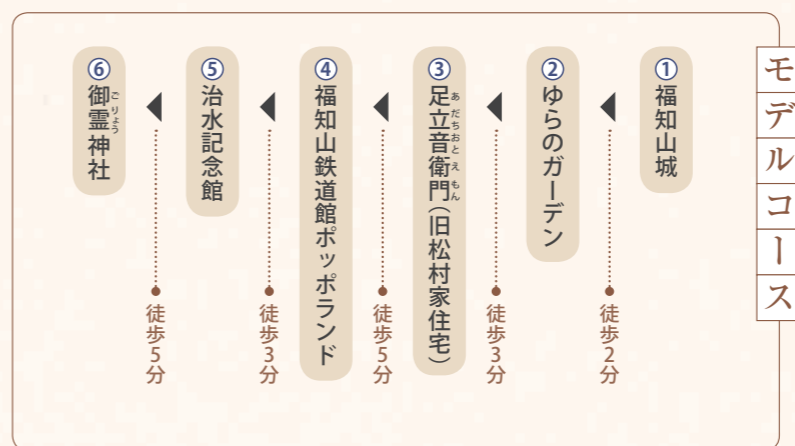
⑥ 御霊神社
善政を敷いた良君・明智光秀公を祀る神社

明智光秀公の霊を祀った神社です。書状や家中軍法など光秀公に関わる資料が伝えられています。境内には、全国でも珍しい堤防を御神体とする堤防神社や、折れば願いが叶うといわれる「叶石」があります。⑧境内自由 ☎0773-22-2255



ひとあしのばして！
元伊勢神社

元伊勢の伝承を残す古の聖地
元伊勢内宮皇大神社は、天照皇大神が現在の伊勢神宮（三重県）に鎮座される54年前に祀られていた場所と伝わっています。元伊勢外宮豊受大神社は、丹後地方へ天下った農業の神「豊受大神」を祀ったもので、伊勢神宮外宮の元宮とされています。内宮・外宮とも、樹皮のついたままの原初的な鳥居を持っています。⑧境内自由 ☎0773-56-1011 (内宮) / ☎0773-56-1560 (外宮)



和でつむぐ 綾のまち

ゆったりと流れる癒しのとき

綾部のまちなかは、由良川河畔に広がる山紫水明の盆地にあり、江戸時代には鳥羽から移封された九鬼藩の小さな城下町として栄えてきました。明治20年代には、この地でグンゼと大本が相次いで誕生。まちなかに活況をもたらすとともに、グンゼは「人と産業」によって、大本は「人と神」によって、人間の成長と慈愛の精神を伝えてきました。グンゼを緯糸、大本を経糸にして交差する綾織のように、グンゼと大本をつなぐ商店街では、崇高な精神風土のもと、長い年月の間に培われた特徴的で工夫された商品、専門的な商品やサービス、和の風情が多く残る料理旅館など、店主とのふれあいを訪れる人の心をつかみ癒してくれます。



〈あやベグゼスクエア〉
「グンゼ博物苑」「綾部バラ園」「あやべ特産館」の3施設からなる綾部の新しい観光拠点エリア

この地で創業したグンゼの歴史や企業文化を学べるほか、美しいバラの観賞や地元の特産品が購入できます。舞鶴若狹自動車道「綾部IC」から約5分、京都縦貫自動車道「綾部安国寺IC」から約10分または「京丹波わちIC」から約20分の好アクセスで、大型バス2台、普通自動車53台分の駐車スペースがあり、休憩スポットとしても最適です。
⑧火曜(祝日の場合は翌日) ☎0773-43-0811 (あやべ特産館)

まちなか散策



●グンゼ記念館

入館は
金曜限定!!

① 〈あやベグゼスクエア周辺〉

近代化産業遺産や京都府景観資産に認定された地域の歴史と文化を刻む文化的景観

養蚕・製糸の町から生まれ、グンゼは、創業者である波多野鶴吉が「善い人が良い糸を作り、信用される人が信用される糸を作る」と考え、人間尊重に立った教育と優良品の生産を基礎として、地域や会社をめぐらすすべての関係者と共栄を図ることを創業の精神としました。まちなかの商店街は、こうしたグンゼの発展成長とともに、工女さん達と心をつなぐ商店街として栄えてきました。



●長生殿

② 〈大本の神苑〉

国の登録有形文化財指定、国の重要文化財指定など貴重な建築物が立ち並ぶパワースポット

大本は、綾部を聖地発祥の地として生まれ、「人類愛善」「万教同根」の教えのもと、人々の生きる喜びと地上に対立のない平和な世界の実現を目指した民衆宗教として、地元では「大本さん」として慕われてきました。広大な神苑内に入ると、みろく殿など貴重な建築物が立ち並び、まさにパワースポット。開教100周年を記念して平成4年に建設された長生殿は、20世紀最大級の木造建築物と称賛されています。

⑩苑内自由 ☎0773-42-0187



●みろく殿



グルメ



③ 〈綾茶 café〉

綾部市はお茶の栽培に適した気候風土で、古くからお茶の栽培が盛ん。特に由良川流域で栽培されるお茶はその品質が高く評価されています。綾部特産のお茶に徹底的にこだわった「綾茶 café」の味と香りをご堪能ください。

⑧火曜(祝日の場合は翌日) ☎0773-43-0835



④ 〈佐々木酒店〉

大正11年創業の老舗の酒屋さんで、マキコレワイン特約店。店内に入ると、世界のビールコーナーやワインコーナー、地酒コーナーなどこだわりの品揃えが目を引きまします。じっくりとお好みのお酒をお探しください。

⑧木曜 ☎0773-42-0213



⑤ 〈いっぷく半月庵 京都丹の国店〉

米粉どら焼き、米せんべいなど、素材にこだわった米菓専門店。店内には、商品コーナーや、お菓子とお茶をゆっくりいただく喫茶スペースがあるほか、予約制でせんべいの手焼き体験もできます。

⑧木曜、年末年始 ☎0773-43-3323



⑥ 〈薬膳喫茶 悠々〉

築約140年の町屋を改装した漢方薬局(明治42年創業)に併設する薬膳喫茶。落ち着いた店内で、医食同源をコンセプトにした薬膳料理や薬膳茶が楽しめます。

⑧木曜、祝、盆、年末年始 ☎0773-42-0425

ひとあしのばして!

黒谷和紙会館

800年の伝統を守り続ける黒谷和紙

昔、戦に敗れた平家の一人が人家の少ない山間に身を隠し、紙を作り始めました。その後、この地を治めた山家藩の藩主が京都の都の奥屋敷に黒谷の紙を売り込んだことから、都でも使われるようになり、黒谷の地は和紙産地として発展しました。黒谷和紙会館では、資料展示や和紙工芸品の販売コーナーがあるほか、予約制で和紙漉き体験もできます。

開館は
平日限定!!



☎0773-44-0213
☎10月祝、盆、年末年始



心と体の美しい旋律(美心)
うらにしと機神様に
育まれる縮緬の郷

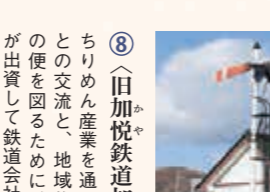
ちりめん街道は城下町として造られました。しかし当時の政治情勢から機能したのはわずか3年。それ以降は市場として機能しました。18世紀には織物業を発展させるため、丹後と京都をつなぐ中間問屋だった手米屋小右衛門らを西陣に使わせて技法を習わせ加悦谷にちりめんを広めさせました。



② 〈旧加悦町役場庁舎〉 ※観光案内所
昭和初期当時の繁栄ぶりを今に伝える建造物
設計は、阪神甲子園球場や大阪歌舞伎座などを手がけた大林組の今林彦太郎。洋風意匠と最新建築技術と工法を用いた耐震的な建物として近代建築史上、貴重な遺構となっています。京都府指定有形文化財。
Ⓜ年末年始 ☎0772-43-0155



③ 〈料理旅館 井筒屋〉
明治時代から続く、ちりめん街道内に現存する唯一の旅館です。
Ⓜ元日 ☎0772-42-2012



④ 〈下村家住宅(旧郵便局)〉
明治時代に使われていた郵便局です。価格の動きが激しい生糸相場の情報をいち早く知るために、この郵便局の電信が利用されていました。
Ⓜ外観自由



壁面の要所を飾るレリーフ

まちなか散策



●ちりめん街道



⑦ 〈旧伊藤医院診療所〉
洋風建築なのは、従来の東洋医学に対してここが西洋医学の医院であることを建物の外観で示していました。
Ⓜ外観自由



⑥ 〈丹波屋〉
丹波屋は昔旅館でした。現在は力強く動く「力織機」を実際に見ていただける場所になっています。
Ⓜ外観自由



⑤ 〈伊達家住宅〉
珍しい桃の瓦
桃には古来より厄除けの意味があり、置かれている位置は家の鬼門の方角にあたります。
Ⓜ外観自由



〈喫茶「花皆嬢」〉
旧加悦町役場庁舎内にある喫茶店です。水にこだわったコーヒーの味をお楽しみください。



営業は土・日・祝限定!!

入館は土・日・祝限定!!

⑧ 〈旧加悦鉄道加悦駅舎〉
ちりめん産業を通じて都市部との交流と、地域住民の交通の便を図るために、村民有志が出資して鉄道会社を設立し、5・7kmにもおよぶ鉄道を敷設しました。
Ⓜ平日 ☎0772-43-0232



⑨ 〈天満神社〉
本殿へは100段以上の急な石段が続きます。見下ろすと大江山連峰と加悦谷平野の眺望は絶景です。
Ⓜ境内自由

機神様について
この地域では、雷様と機の神様をひっかけて「機神様」と呼びました。雨の時の湿度は絹糸に良いが雷で停電して機が止まると織り段という横方向に絹織の段ができてしまうことがあります。そうすると、反物が売り物にならなくなってしまうので、雷が鳴っている時には「機神様が泣いている」といって手を合わせていました。



⑩ 〈悉皆屋〉
地域に今もなお着物をきる習慣が根付いており、着物にまつわるお話が聞けることに加え、着物の仕立て直しや小物との組み合わせなど、色々な相談ができます。
Ⓜ不定休

〈織物工場〉
ちりめん街道を歩いていると、どこからともなく「ガチャガチャ」と機音が聞こえます。当時の子どもは、機織をする母親に背負われ、機音を子守唄にして大きく育ったという。今でも昔と変わらない機音に包まれる生活が息づいています。

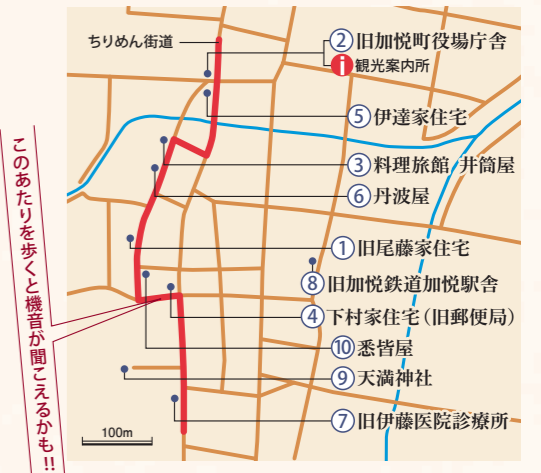
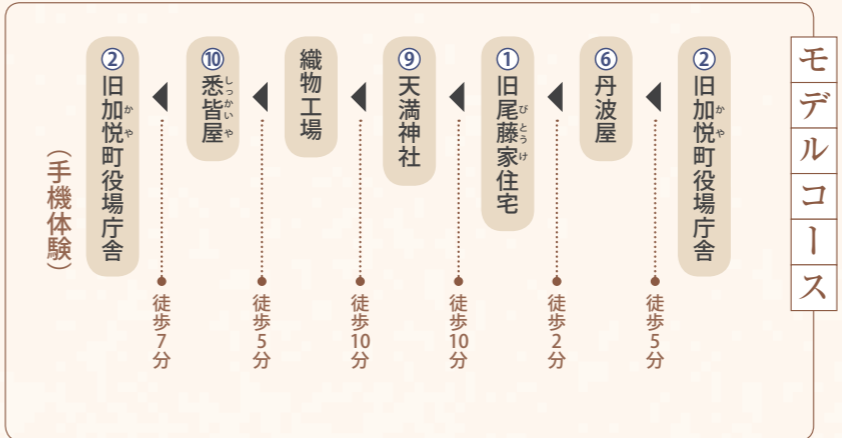


手織り体験(コースター作り)
手触り・肌触りのよい絹糸を使用し、ひと織りひと織り丁寧に織り上げていきます。できたコースターはお土産や記念にどうぞ。
◆予約:当日受付可能 ※8名以上は要予約
◆作業時間:約30分
◆体験時間帯:10時~16時
◆料金:900円/人

組み紐体験(ミサンガ作り)
初めてでも簡単に楽しくミサンガが作れます。絹糸を使用するので肌触りもよく、できたミサンガはお土産や記念にどうぞ。
◆予約:当日受付可能 ※8名以上は要予約
◆作業時間:約20分
◆体験時間帯:10時~16時
◆料金:600円/人

体験プログラム

織物の町ならではの体験
機音響く「ちりめん街道」で、オリジナルの手作り体験が気軽に楽しめます!



このあたりを歩くと機音が聞こえるかも!!



海に浮かぶ舟屋の心地よさ
家か、漁場か、
窓の下には旬の魚たち



1階が船のガレージで2階が居室
になっている「伊根の舟屋」は、
伊根湾沿いの水際ぎりぎりに約
230軒が群として建ち並んでい
ます。伊根湾沿いの集落では、い
つも手が届くところに海があり、
さばいた魚のアラをもんどりに入
れておくと、また魚がかかってい
ます。時にはアワビやサザエが舟
屋に這い上がり、夕暮れの食卓に
あがります。目の前の豊かな海と
暮らす漁業中心の営みが現在も息
づいています。

まちなか散策



①〈伊根浦公園〉
旧役場跡で、舟屋を
海側から間近に見るこ
とができます。



③〈江戸時代の舟屋〉



〈伊根浦散策〉

「伊根浦散策案内人」がおすすめ

「伊根浦散策案内人」に依頼すると、地元のガイドにより舟屋の歴史や伊根の人々の暮らしなどを、細部にわたって知ることができます。通常の散策では見ることができない舟屋の内部や舟屋がよく見える個人敷地にも入ることができます。



②〈向井酒造〉

日本で一番海に近い酒蔵

宝暦4年(1754年)創業の260年続く造り酒屋。若女将が杜氏をされています。代表銘柄は「京の春」、その他女性に人気の「伊根満開」は、古代米を使用した赤い日本酒で、飲みやすさとフルーティな味が特長です。

☎無休 ☎0772-32-0003



〈釣り体験〉

竿はレンタル
手ぶらで釣り体験

伊根町では、季節を問わずいろいろな魚を釣る事ができます。釣りガイドさん付きで、釣り竿やエサまで用意してもらえます。
☎0772-32-0277 (伊根町観光協会)



〈海上タクシー〉

漁船を利用した遊覧船

舟屋の歴史や景観の説明をしながら、伊根湾を周遊します。
成洋丸 ☎0772-32-0230 亀島丸 ☎0772-32-0585
碧海丸 ☎0772-32-0111 ハービー ☎0772-32-0356
まるいち丸 ☎0772-32-0608



〈鯖のへしこ〉

新鮮なさばをぬか漬けたものです。



〈筒川そば〉

地元筒川地区で収穫されたそば粉のみを使用したそば。お土産に乾麺も人気です。



〈お造り(ヤガラ、アジ、平鯛など)〉

〈伊根ぶり〉

日本三大ぶり漁場である伊根町の冬の味覚の代名詞です。

ひとあしのばして!

浦嶋神社

日本最古の浦嶋伝説が伝わる神社
浦嶋神社に伝わる浦嶋太郎伝説は「日本書紀」・「万葉集」・「丹後風土記」にも記述が見られ最も起源が古いとされています。この神社は、丹後の名族であった浦嶋一族の業績をたたえて創られたといわれ、玉手箱や浦嶋縁起絵巻などの宝物がたくさん納められています。



☎境内自由 ☎0772-33-0721



〈伊根工房〉

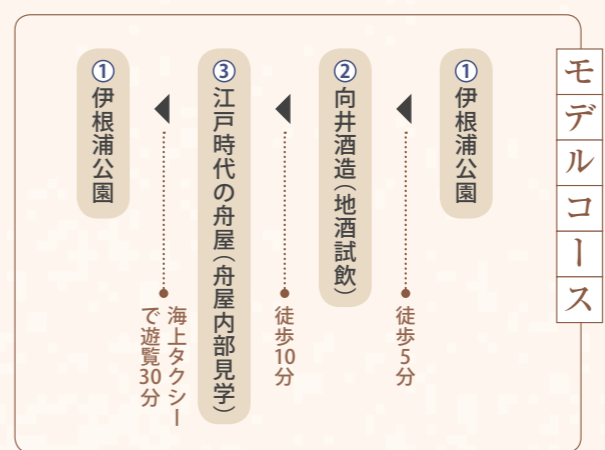
オーナーの自宅(舟屋)を開放したギャラリー&喫茶。散策途中でコーヒーを飲みながらくつろぐことができます。またギャラリーには伊根焼きのお皿や置物が展示されています。

☎火曜 ☎0772-32-0071



〈レンタサイクル〉

舟屋の町並みは車で通り過ぎるより、自転車でゆっくり回るのがベスト!サイクルステーションで乗り捨てもできます。
☎0772-32-0277 (伊根町観光協会)



4月

【舞鶴市】
◎吉田のしだれ桜
【所】 瑠璃寺
【関】 まいづる観光ステーション
☎ 0773-75-8600

【福知山市】
◎福知山お城まつり
【所】 御霊公園・広小路通りほか
【関】 福知山商工会議所
☎ 0773-22-2108

【与謝野町】
◎雲岩公園つつじ祭
【所】 与謝野町岩屋
【関】 与謝野町観光協会
☎ 0772-43-0155

◎滝の千年ツバキまつり
【所】 与謝野町滝
【関】 与謝野町観光協会
☎ 0772-43-0155

【宮津市】
◎元伊勢籠神社葵祭
【所】 元伊勢籠神社
【関】 元伊勢籠神社
☎ 0772-27-0006

【伊根町】
◎筒川祭
【所】 上山神社
【関】 伊根町観光協会
☎ 0772-32-0277

5月

【与謝野町】
◎三河内曳山祭
【所】 与謝郡与謝野町三河内地区
【関】 与謝野町観光協会
☎ 0772-43-0155

【宮津市】
◎宮津祭
【所】 宮津市街地
【関】 天橋立駅観光案内所
☎ 0772-22-8030

【舞鶴市】
◎まいづる細川幽斎田辺城まつり
【所】 舞鶴公園
【関】 同実行委員会
☎ 0773-75-0933

【綾部市】
◎春のバラまつり
【所】 綾部バラ園（あやべグンゼスクエア内）
【関】 あやべ特産館
☎ 0773-43-0811

【福知山市】

◎大江山一斉登山
【所】 福知山市・宮津市・与謝野町
【所】 大江山
【関】 福知山市観光振興課
☎ 0773-24-7076

6月

【全域】
◎TANTAN ロングライド
【所】 宮津市菅天橋立駐車場
【関】 京都府観光振興課
☎ 075-414-4854

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園アジサイまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

7月

【宮津市】
◎文殊堂出船祭
【所】 天橋立廻旋橋付近
【関】 天橋立駅観光案内所
☎ 0772-22-8030

【綾部市】
◎あやべ水無月まつり
【所】 綾部市川糸町由良川周辺
【関】 同実行委員会
☎ 0773-42-0701

【伊根町】
◎伊根祭
【所】 八坂神社他、伊根湾周辺
【関】 伊根町観光協会
☎ 0772-32-0277

【京丹後市】
◎浅茂川水無月祭
【所】 網野町浅茂川
【関】 水無月祭典委員会
☎ 0772-72-0009

【舞鶴市】
◎みなと舞鶴ちゃったまつり
【所】 西地区・東地区
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0773-62-4600

8月

【与謝野町】
◎与謝野町ひまわりフェスティバル
【関】 与謝野町観光協会
☎ 0772-43-0155

【伊根町】

◎本庄祭
【所】 浦嶋神社
【関】 伊根町観光協会
☎ 0772-32-0277

【京丹後市】
◎小天橋夏祭り すいすいビーチナイトカーニバル
【所】 小天橋・葛野浜海水浴場
【関】 小天橋観光協会
☎ 0772-83-0149

◎京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会
【所】 久美浜湾カヌー競技場
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0772-69-0470

◎千日会観光祭
【所】 久美浜町一区久美浜公園
【関】 久美浜町観光総合案内所
☎ 0772-82-1781

【福知山市】
◎福知山ドッコイセまつり
【所】 広小路通りほか
【関】 同実行委員会
☎ 0773-22-2108

【京丹後市】
◎夕日ヶ浦納涼花火大会
【所】 夕日ヶ浦
【関】 夕日ヶ浦観光協会
☎ 0772-74-9350

【宮津市】
◎宮津燈籠流し花火大会
【所】 宮津湾・島崎公園
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0772-22-5131

【伊根町】
◎伊根花火
【所】 伊根湾
【関】 同実行委員会
☎ 0772-32-0277

【京丹後市】
◎浅茂川水無月祭
【所】 網野町浅茂川
【関】 水無月祭典委員会
☎ 0772-72-0009

【舞鶴市】
◎元伊勢八朔祭り
【所】 元伊勢内宮皇大神社・元伊勢外宮豊受大神社
【関】 福知山観光協会大江支部
☎ 0773-56-1102

【京丹後市】
◎歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン
【所】 京丹後市内
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0772-69-0470

【与謝野町】
◎よさの大江山登山マラソン
【関】 同実行委員会
☎ 0772-43-9026

【舞鶴市】
◎まいづる魚まつり
【所】 舞鶴水産流通協同組合
【関】 舞鶴水産流通協同組合
☎ 0773-75-3275

【舞鶴市】
◎額田のダシまつり
【所】 福知山市夜久野町額田地区
【関】 福知山観光協会夜久野支部
☎ 0773-37-1103

【舞鶴市】

◎まいづる魚まつり
【所】 舞鶴水産流通協同組合
【関】 舞鶴水産流通協同組合
☎ 0773-75-3275

【京丹後市】
◎久美浜カキ・魚まつり
【所】 マリンプラザ前
【関】 同実行委員会
☎ 0772-83-0006

【宮津市】
◎城下町宮津七万石和火
【所】 宮津市街地
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0772-45-1625

【舞鶴市】
◎舞鶴赤れんがハーフマラソン ※要申込
【所】 舞鶴赤れんがパーク
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0773-66-1058

【舞鶴市】
◎赤れんがフェスタ in 舞鶴
【所】 舞鶴赤れんがパーク
【関】 同実行委員会
☎ 0773-66-1024

【宮津市】
◎天橋立ふゆ花火
【所】 天橋立阿蘇海（府中側）
【関】 天橋立駅観光案内所
☎ 0772-22-8030

【与謝野町】
◎きものでぶらり♪ちりめん街道
【所】 ちりめん街道
【関】 与謝野町観光協会
☎ 0772-43-0155

【伊根町】
◎伊根のうみやーもん祭
【所】 伊根町役場正面広場
【関】 伊根町地域整備課
☎ 0772-32-0505

【福知山市】
◎大江山酒呑童子まつり
【所】 丹鉄大江駅周辺
【関】 同実行委員会
☎ 0773-56-1102

【福知山市】
◎福知山マラソン ※要申込
【所】 三段池公園
【関】 同事務局
☎ 0773-24-3031

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

【綾部市】

◎綾部もみじまつり
【所】 大本神苑
【関】 同実行委員会
☎ 0773-42-0701

【舞鶴市】
◎まいづる赤れんが地場産市場
【所】 舞鶴赤れんがパーク
【関】 舞鶴赤れんがパーク
☎ 0773-66-1096

【京丹後市】
◎久美浜カキ・魚まつり
【所】 マリンプラザ前
【関】 同実行委員会
☎ 0772-83-0006

【宮津市】
◎宮津燈籠流し花火大会
【所】 宮津湾・島崎公園
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0772-22-5131

【舞鶴市】
◎舞鶴赤れんがハーフマラソン ※要申込
【所】 舞鶴赤れんがパーク
【関】 同実行委員会事務局
☎ 0773-66-1058

【舞鶴市】
◎赤れんがフェスタ in 舞鶴
【所】 舞鶴赤れんがパーク
【関】 同実行委員会
☎ 0773-66-1024

【宮津市】
◎天橋立ふゆ花火
【所】 天橋立阿蘇海（府中側）
【関】 天橋立駅観光案内所
☎ 0772-22-8030

【与謝野町】
◎きものでぶらり♪ちりめん街道
【所】 ちりめん街道
【関】 与謝野町観光協会
☎ 0772-43-0155

【伊根町】
◎伊根のうみやーもん祭
【所】 伊根町役場正面広場
【関】 伊根町地域整備課
☎ 0772-32-0505

【福知山市】
◎大江山酒呑童子まつり
【所】 丹鉄大江駅周辺
【関】 同実行委員会
☎ 0773-56-1102

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

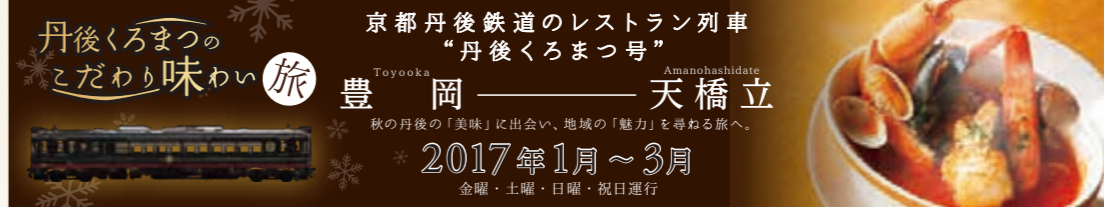
【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

【舞鶴市】
◎舞鶴自然文化園ツバキまつり
【関】 舞鶴市花と緑の公社
☎ 0773-68-1187

「海の京都観光圏」を巡る旅

鉄道で

気軽に乗れる観光列車で沿線の風景をお楽しみください。



車内は木を多用した落ち着いた空間。絶景を楽しむ列車の旅を心地よく味わっていただけるよう、随所に工夫を施してあります。車窓からは美しい海、穏やかな山並み、のどかな田園風景など様々な風景をお楽しみください。

BETSUBARA sweets course	MANPUKU lunch course	TASHINAMI sake of local brew course
スイーツコース お一人様5,000円 10:08発 11:55着	ランチコース お一人様9,200円 12:24発 14:56着	地酒コース お一人様7,000円 17:15発 18:21着

くろまつ	あかまつ	あおまつ
10:08発 11:09着 14:56発 14:42着 17:15発 18:21着	11:05発 11:29着 14:53発 14:47着 15:22発 15:27着	10:59発 10:59着 11:38発 11:38着 14:46発 14:46着 15:28発 15:28着

バスで



高速バス
京都・大阪から温泉とグルメの日本三景天橋立へは、お得で快適な高速バスで！

丹後海陸交通株式会社 TEL 0120-15-8814 http://www.tankai.jp/



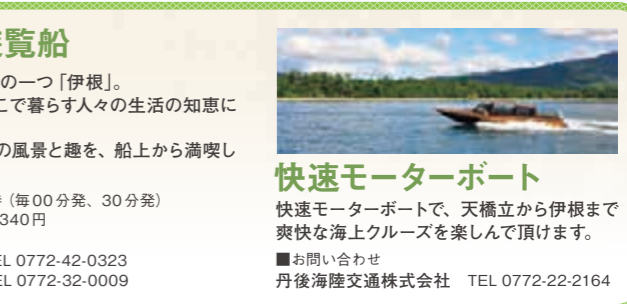
舞鶴を巡るならコレ!!
特典としてバス1日乗車券と舞鶴かまぼこ手形がもらえる。市内9カ所の販売所でお買い求めいただけます。

船で



伊根湾めぐり遊覧船
「日本で最も美しい村」の一つ「伊根」。美しい海と豊かな自然、そこで暮らす人々の生活の知恵によって生まれた風景美。陸地からは味わえない舟屋の風景と趣を、船上から満喫して頂けます。

丹後海陸交通株式会社 TEL 0772-42-0323
当日のお問合せ TEL 0772-32-0009



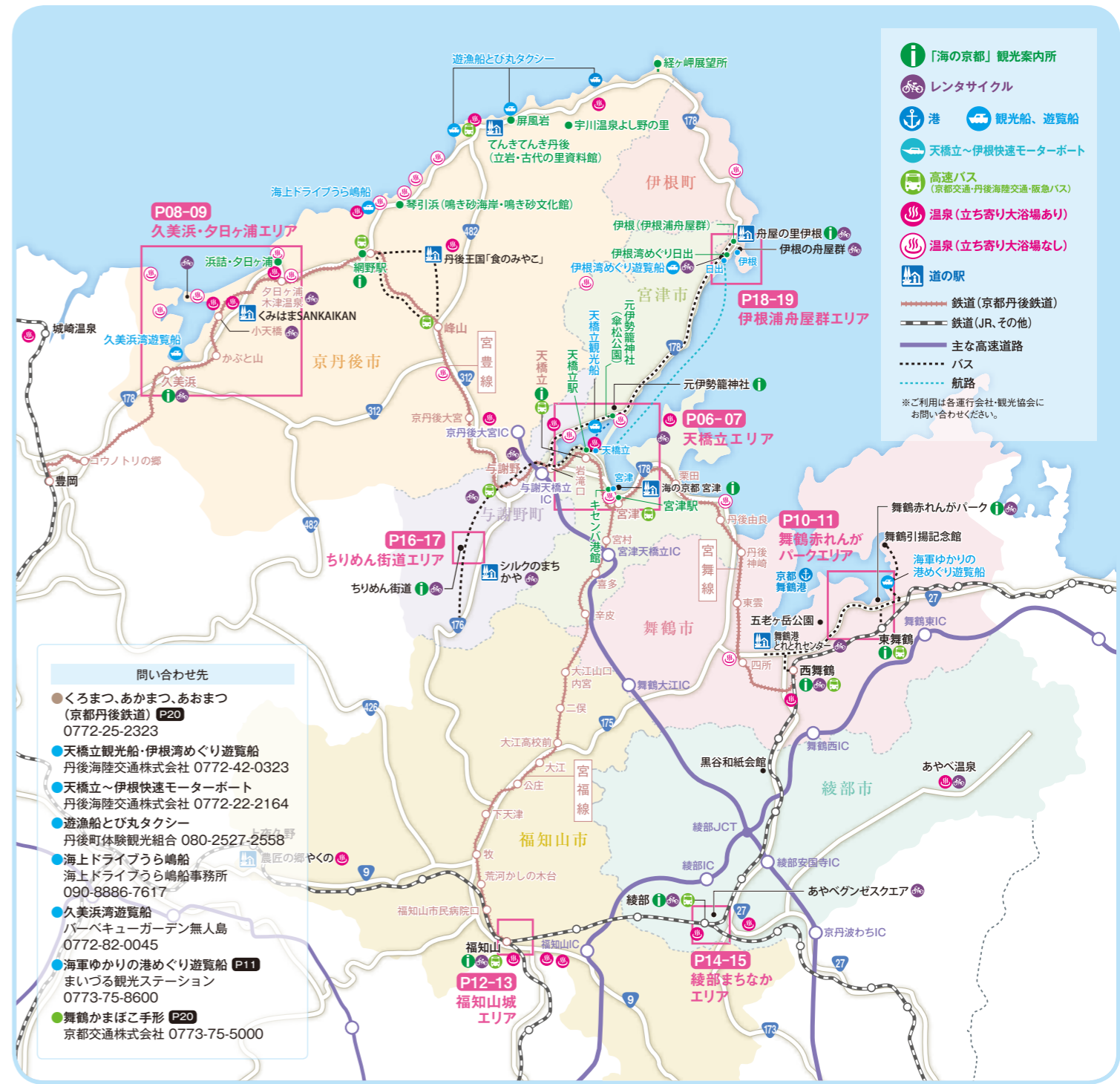
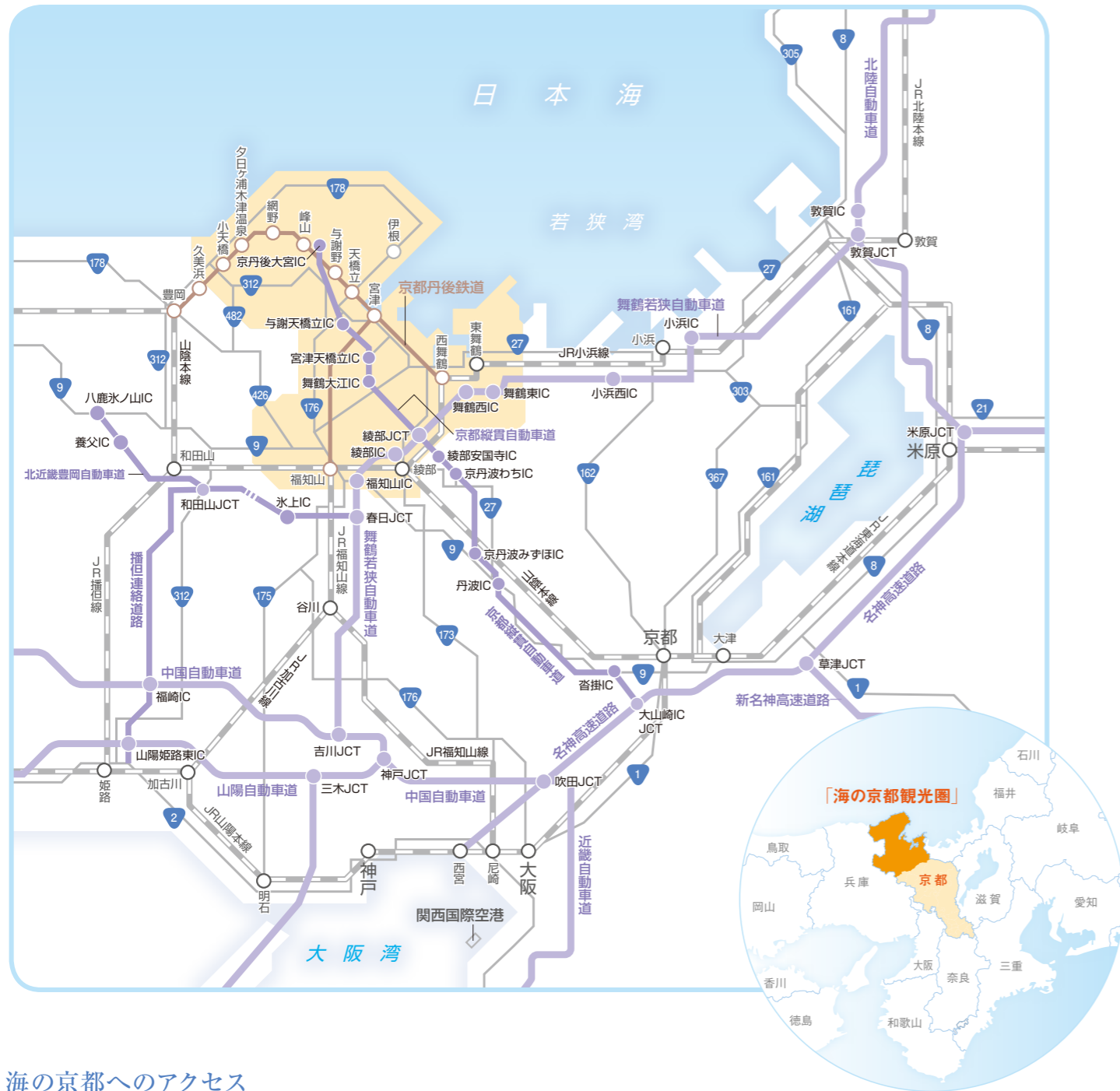
快速モーターボート
快速モーターボートで、天橋立から伊根まで爽快な海上クルーズを楽しんで頂けます。

丹後海陸交通株式会社 TEL 0772-22-2164

京都北部 福知山・綾部・舞鶴へは 京都交通 日本交通 なんと毎日約80便運行中!

お問い合わせ 京都交通株式会社 TEL 0773-76-8800 http://www.kyotokotsu.jp/

海の京都交通マップ



- 問い合わせ先
- くろまつ、あかまつ、あおまつ (京丹後鉄道) P20 0772-25-2323
 - 天橋立観光船・伊根湾めぐり遊覧船 丹後海陸交通株式会社 0772-42-0323
 - 天橋立～伊根快速モーターボート 丹後海陸交通株式会社 0772-22-2164
 - 遊漁船とび丸タクシー 丹後町体験観光組合 080-2527-2558
 - 海上ドライブうらら船 海上ドライブうらら船事務所 090-8886-7617
 - 久美浜遊覧船 パーベキューガーデン無人島 0772-82-0045
 - 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船 P11 まいづる観光ステーション 0773-75-8600
 - 舞鶴かまぼこ手形 P20 京都交通株式会社 0773-75-5000

海の京都へのアクセス

